

～群馬県のシンボル～

県紋章



中心の部分は「群(古字)」で、偏とつくりを縦に組み合わせたもの。周辺の「山」の字に見える部分は、上毛三山と呼ばれる赤城・榛名・妙義山を表現しています。

県の花「レンゲツツジ」



ツツジ科の落葉低木。5～6月中旬ごろにオレンジ色の花を咲かせます。赤城

山、榛名山、浅間高原などに群生地があり、武尊(ほたか)牧場、鹿沢湯の丸牧場の群落は天然記念物に指定されています。

県のマスコット



二代目ぐんまちゃん

ぐんまちゃんは昭和58年の「あかぎ国体」で登場。平成6年の「ゆうあいピック群馬大会」で登場した二代目ぐんまちゃんは、「群馬県」のPRに大活躍しています。



ぐんまちゃん

県の魚「アユ」



体長15～30cmのアユ科の淡水魚。背面はオリーブ色、腹部は銀白色の、美しい姿をした魚です。県内の多くの河川に生息し、石についた藻を食べることで成長します。

～群馬県のシンボル～

県の鳥「ヤマドリ」



日本だけにすむ茶褐色のキジ科の鳥で、本州・四国・九州に分布。特に本県では広範囲に生息しています。キジよりやや大きく、雄の尾羽がきわめて長いのが特徴です。

県の木「クロマツ」



成長すると高さ30mにも達するマツ科の常緑高木で、内陸山周部で繁茂するのは珍しいといわれますが、県内では赤城南面に広く植樹されています。県庁構内でも見ることができます。